たのはぐ会　会員募集のご案内

こんにちは。お蔭さまで第10回の公演を迎えました。みなさまの応援の賜ものです。心からお礼を申し上げます。『荻窪講談』は若手の夢を育てるステージです。ぜひ熱いご声援をこれからも寄せてください。前座・二ッ目・真打と昇進しても、さまざまな機会にここ荻窪へ立ち寄り会員と楽しい交流が出来るようにしたいと思います。できれば今後、荻窪の街のあちらこちらでミニ講談が催されれば更に『街おこし』に貢献できると存じます。皆様の応援をお待ち致します。是非ご入会ください。

【一般会員募集】　*「荻窪講談」を楽しみながら、この話芸を守り育てるサポーターになりませんか？*

年会費：3,000円

特典：年２回の公演会へご招待（１公演に付、入場券１枚送付）

一般会員の申込み方法：

お名前、住所、電話、ＦＡＸ番号を下の記入欄にお書きの上、このパンフをそのまま、（上下半分のA4サイズに切り）

ＦＡＸ：**03-3399-2559** へお送り下さい。

後日入会手続の手順等を当会よりご連絡させて頂きます。

※入場券購入もFAXにてお願いいたします。

【賛助広告募集】　*広告出稿で「荻窪講談」をサポート、地元社会への貢献をお願いします！*

第10回公演の広告募集

１口：　5,000円　パンフレットに会社名記載（入場券2枚）

２口：10,000円　パンフレットに会社広告掲載（入場券3枚）

荻窪講談一般会員加入申し込み用紙

ふりがな お名前	
住　所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	

たのはぐ会 主催

第10回 荻窪講談紅の会

ご来場の皆様に
10回記念特製うちわ
プレゼント！

■ 平成27年6月4日（木）

午後5時30分開場　午後６時00分開演（8時20分頃終了予定）

■ 杉並公会堂小ホール

東京都杉並区上荻1丁目23番15号ＪＲ荻窪駅より徒歩7分

入場料 2,500円（税込）

ウェブサイト 荻窪講談 で 検索 してください！

第10回公演を記念して、会場抽選で素敵なプレゼントを進呈します！またご来場の皆様全員に、特製「荻窪講談10回記念うちわ」を差し上げます!

ごあいさつ

荻窪講談会は、今回10回目の記念すべき日を迎えることが出来ました。これまで応援いただいた皆様のおかげだと心より感謝申し上げます。そこで、通常は日本講談協会の若手による出演でしたが、今回は紅一門で趣向を凝らして語らせていただきます！ 今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本講談協会理事 神田 紅

ごあいさつ 愈々、『荻窪講談』第10回開催の運びと相成りました。当初、不慣れな私たち世話人、戸惑いながらのスタートでしたが、多勢のみなさまのご支援とご声援があっての第10回でございます。これからも荻窪の街に講談がもっと身近になる様、ボランティアを発揮して参りますので引き続きご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

荻窪講談 楽育会 会長 八重幡清忠

プログラム・プロフィール

神田 紅

演 目

ご 挨 拶 6:00 ～

紅佳（べにか）

平成25年5月 紅に入門。北九州市出身。前座修行中。

真紅（しんく）

平成21年6月 紅に入門。平成25年12月二ツ目。水戸市出身。
歴史知識を活かし新作をどんどん作って参ります。

「秋色桜（しゅうしきざくら）」

今でも上野に残る銘木 秋色桜。その由来となった俳人・秋色の孝行譚を真紅、紅佳の二人が役柄を分けて語ります！ どちらが何役かは見てのお楽しみ。

蘭（らん）

平成16年1月 紅に入門。現在二ツ目。
明るく、楽しく、わかりやすく！をモットーに奮闘中！！！

「曲馬団の女（きょくばだんのおんな）」

舞台は終戦前後の東京。身寄りのない曲馬団（サーカス）のお蘭は、泥棒に身を落としていた。ある時盗みに入った家の老婆の人情にふれ、心に変化が・・・。

紅葉（もみじ）

平成13年8月紅に入門。現在二ツ目。人生これからと50歳からの入門。
遅蒔きながら進化を続けて参ります。

「報恩出世俥（ほうおんしゅっせぐるま）」

人力車夫の正吉は4人暮らし、稼げど稼げど足らぬ貧乏。とうとう制服の股引きを質に入れてしまう。そんな正吉に声を掛けた警官との心暖まる物語。

仲 入 り 7:10 ～ 7:25

陽司（ようじ）

平成15年真打ち昇進。世の中のすべては講談になるはず！
「創作講談」を究めることが目標です。

「徳川3.5代将軍（とくがわだいしょうぐん）」

歴史は権力者にとって都合のよい部分ばかり残されるものです。ここに正式な史書からは完全に抹消された将軍がおりました。果たしてその将軍とは？

紅（くれない）

平成元年真打昇進。博多っ子。荻窪はお三味線のお稽古で通った馴染みの大好きな町。古典から創作講談まで、紅流に染め上げます。

「牡丹燈籠（ぼたんどうろう）・お札（ふだ）はがし（立体）」

明治時代の落語家三遊亭円朝原作の長編物語から、発端を織り交ぜて。
ご存知「お札はがし」の場面は、紅葉・蘭の共演による立体でご覧下さいませ。

8:20頃 終了予定